

学習指導要領	都立杉並総合高校 学カスタンダード
<p>ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。</p>	<p>様々な文章の構成や展開、主要な内容をとらえ、その論理性について分析、考察して説明することができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論説や評論において、対比や言い換えなどの関係や段落の構成をとらえ、それぞれの働きや関係について説明することができる。</li> <li>・小説において、全体の骨組みをとらえ、場面や人物などの設定がその後の展開にどう働いているかを把握し、説明することができる。</li> <li>・接続詞や文の相互の関係性に注目し、具体と抽象の区別をしながら、論を追っていくことができる。</li> <li>・文章の構成や展開の工夫や、書き手の主張などを伝えるための筋道の通し方について分析、考察し、説明することができる。</li> </ul>
<p>イ 文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうこと。</p>	<p>文章を読んで、場面の転換や比喻表現に着目し、内容を味わうことができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論説や評論において、書き手の主張や意図を、筆者の思考の進め方に着目しながら理解することができる。</li> </ul> <p>森鷗外『舞姫』などで</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の人物像や心情の変化について、その言動や情景描写を正確に読み取り、理解することができる。</li> </ul>

学習指導要領	都立杉並総合高校 学カスタンダード
<p>ウ 文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりすること。</p> <p>エ 目的や課題に応じて、収集した様々な情報を分析、整理して資料を作成し、自分の考えを効果的に表現すること。</p>	<p>多種多様な文章の内容や表現の仕方について、その特色や価値を評価しながら、自分の考えを深め、筆者の意見と自分の考えとの比較や、他者との価値観や意見の違いがあることを通して、自分の視野を広げることができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読んで、相反する立場の文章と比較し、その特徴や価値を説明することができる。</li> <li>・文章を読んで、人間、社会、自然について考察しながら自分の考えを深めることができる。</li> </ul> <p>目的や課題に応じて、収集した情報の価値判断をして資料を作成し、論拠に基づいて自分の考えを述べる事ができる。</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や課題に応じた方法を考え、事典、新聞、書籍やウェブページなどで調べたり、インタビューやアンケート調査をしたりするなど、与えられた条件にふさわしい情報を収集することができる。</li> <li>・プレゼンテーションを通して自分の資料を活用しながら、内容を簡潔に伝えるとともに、聞き手の納得のいく根拠の提示の仕方や考えを多様な方法で伝えることができる。</li> </ul>
<p>オ 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てること。</p>	<p>語句の意味・用法について、的確に理解し、自分の表現に役立てるとともに、文章の理解や事項の把握につなげることができる</p> <p>《具体的な設定例》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な文章について、語句の意味・用法を的確に理解し、また用いることができる。</li> <li>・説明的文章に使用される語句のうち主要なもの（概念、普遍、アイデンティティ、ロジックなど）の意味を正しく理解し、また用いることができる。</li> <li>・新聞のコラムなどを正確に理解することができる。</li> </ul>

学習指導要領	都立杉並総合高校 学カスタンダード
	<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 比喩、反復、倒置、省略、対句などについて理解し、文章中の技法について説明するとともに、自らも用いることができる。</li><li>・ 文章を読んで、論の構成・展開の仕方、適切な表現について、良い点を指摘し、自分が表現したり推敲したりする時に用いることができる。</li></ul>